

【ヒットルアー】

・モカSR(SS) 薄茶	6尾	・プチモカSR(SS) 薄茶	1尾
・モカSR(SS) ミドピーノ	3尾	・プチモカSR(SS) 桃	1尾
・モカSR(SS) 黄・オレンジ	3尾	・ちびパニクラDR-SSタッキーブラウン	1尾
・モカSR(SS) 桃	2尾	・デカミツツ 透明	1尾
・プチモカSR(SS) 黄・オレンジ	3尾	・マメしずくBB 薄茶	2尾
・プチモカSR(SS) ミドピーノ	2尾	・マメしずくBB 桃	2尾 空中
・プチモカSR(SS) ミルクココア	1尾	・しずくST 薄茶	1尾

<ツレ>注目ルアー

マメしずくBB 桃 4尾 ボトム / マメしずくST 薄茶 1尾 /

モカSR(SS)
薄茶



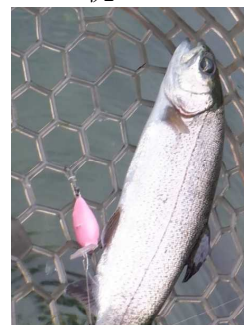
モカSR(SS)
ミドピーノ



モカSR(SS)
黄・オレンジ



モカSR(SS)
桃



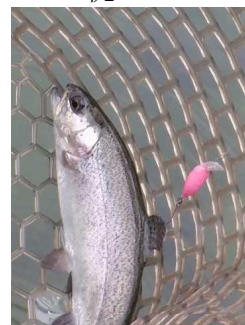
プチモカSR(SS)
黄・オレンジ



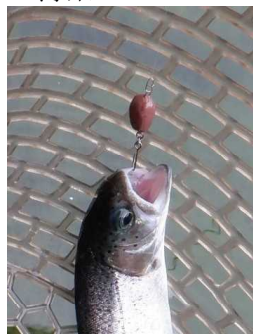
プチモカSR(SS)
薄茶



プチモカSR(SS)
桃



マメしずくBB
薄茶



マメしずくBB
桃



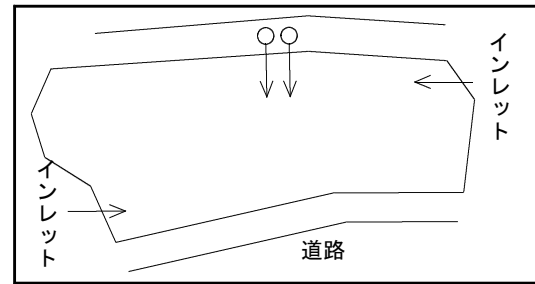
しずくST
薄茶



マメしずくST
薄茶



【様子】



- 料金 半日午後 男性 ¥3,500 女性 ¥3,000
- 火曜日は放流なし。餌撒きなし。 晴れ、風少々ときどき無風 水は透明

スタート(12時15分)～午後1時30分 9尾

- 表層にマスの姿が見られ、動きもある。
- モカSR(SS)、プチモカSR(SS)のそれぞれ4色(黄・オレンジ、ミドピーノ、薄茶、桃)でローテーションしていくことにした。
- モカSR(SS) 薄茶からスタートした。
- “追いかけてくるが口を使わない”、“口先でつつく”、“口に入れるが釣掛かりしない。”という状況が続く。マスがルアーをエサではないと学習しているように感じる。
- 何とか9尾取った。このあと活性が下がっていった。

・モカSR(SS)ミドピーノ	3尾	・プチモカSR(SS)黄・オレンジ	1尾
・モカSR(SS)黄・オレンジ	2尾		
・モカSR(SS)薄茶	2尾		
・モカSR(SS)桃	1尾		

午後1時30分～午後3時20分 5尾

- 午後1時30分をまわり、さっぱり釣れない。
- 深い所をDRで探ることにした。モカDR(SS)ミドピーノ、薄茶、桃を試すがダメ。
- ちびパニクラを5色とも試した。タッキーブラウンに少し反応があった。1尾取れた。
- 竿先にマメしづくBB桃をつけて、水面やや上に留めておいた。好反応である。空中で2尾取った。
- しづくST薄茶を試した。1尾釣ったが、リップが取れてしまった。
- トップ、ボトム、スプーンを試すが、良くない。
- 風が吹くので釣りにくい。
- いろいろ試して5尾を取った。3時20分をすぎて活性が戻ってきた。

・マメしづくBB	桃	2尾	空中
・しづくST	薄茶	1尾	リップが取れた
・ちびパニクラDR-SS	タッキーブラウン	1尾	
・デカミツ	透明	1尾	トップ

午後3時20分～午後5時30分 15尾

- 活性が上がってきた。何かをきっかけにさっとマスが集まってくる。こういった状況では、「マメしづくBB薄

茶」のチャンスである。入れ掛かりが期待できる。しかし、ダメ。集まってくるが、口を使わない。結局、1尾も取れなかった。ツレも「Pellet Pellet SS」で1尾も取れなかった。

- モカ、プチモカの4色でローテーションをすることにした。
- 午後5時が終了と思っていたが、5時30分が終了だった。

・プチモカSR(SS) 黄・オレンジ 2尾	・モカSR(SS) 薄茶 4尾
・プチモカSR(SS) ミドピーノ 2尾	・モカSR(SS) 桃 1尾
・プチモカSR(SS) ミルクココア 1尾	・モカSR(SS) 黄・オレンジ 1尾
・プチモカSR(SS) 薄茶 1尾	・マメしづくBB 薄茶 2尾
・プチモカSR(SS) 桃 1尾	

【自作ルアー】

- アクリル絵の具で塗った「薄茶」「桃」について
 - ・モカSR(SS)、プチモカSR(SS)、モカDR(SS)にそれぞれ「薄茶」「桃」を塗った。
モカSR(SS) 薄茶 6尾 / プチモカSR(SS) 薄茶 1尾
モカSR(SS) 桃 2尾 / プチモカSR(SS) 桃 1尾
→「薄茶」はメインカラーであり、「桃」は差し色である。
- マメしづくSS、STでリップのないものを作ろう。
 - ※STはSS(スローシンキング)より沈下速度が速いため、速く巻ける。
 - ※水中で前傾姿勢を取るためにおもりを前につけていることから、リップがつけにくいことや、上手く泳がせるためのリップはどうあるべきか検討が必要であることから、当面、リップなしで作る。

【振り返り】

- マスがネットインするごとに写真を撮った。写真から、釣れているときは風がないときが多いということが分かった。
- 小さな池で多くの釣り人がルアーを引くため、マスのルアーに対する警戒心が強くなっていると感じた。追いかけてくるが口を使わない、口先(鼻先)でルアーをちょんと触る、口に入れるが釣掛かりしない(口に入れて、反転するのではなく、ルアーを離してしまう、等々から判断して思う。
- 口に入れて釣掛かりしないことが多いなら、クラッチフックを使ってはどうだろうか。クラッチフックは“ねむり”が入っている。または、釣サイズを大きくしてはどうだろうか。
- 今日は連続ヒットがなかった。1尾釣れると釣れない。多くても2尾までであった。このことも、マスがルアーにすれている証拠であろうか。
- パイロットルアーとしてのスプーンを探すこと。